

13 安全教育の実践事例

I 生活安全

小学校・第1学年 特別活動（学級活動）

生活

1 題材名 「どんなきけんがあるのかな」

2 目標

I-2 校内での安全

校内で起こる事故等の危険について理解し、安全に行動できるようにする。

3 児童の実態

児童は、学校生活にも慣れ、きまりを守って過ごそうとする規範意識も芽生えてきている。一方で、楽しく遊ぶことに夢中で、身の回りの危険に気付くことが難しい児童もいる。例えば、教室内で走り回る、ふざけ合って体を押す等である。走ってはいけないと分かっているが、いざというときに、自分の周りしか見えなくなってしまう場面が非常に多い。

そこで、身の回りで起こりうる危険やそれを防ぐための行動について考える機会を設定することを通して、周りをよく見て安全に過ごそうとする意識をもたせていく。

4 本題材と「日常的な安全指導」「定期的な安全指導」「特設する安全学習」との関連

「日常的な安全指導」として、朝の会や帰りの会を活用して、校内で過ごすときのきまりや、けがの防止について指導を行ってきた。また、「定期的な安全指導」として、月に数回ロッカーや机の周りを整頓する時間を設け、整理整頓に努めさせるとともに、机の横にかけられる荷物は1つまでというきまりを徹底している。

本題材は、教室や廊下で起こる事故等の危険を理解させ、安全に過ごそうとする意識を高めるため、「特設する安全学習」として設定した。安全に過ごすためには、どんな危険があるのかを意識することが必要であることを理解させる。また、自分自身が安全に過ごすことを意識することは、自分や友達の命を守ることにつながることに気付かせていく。

5 目標に迫るための指導方法の工夫

(1) イラストの活用

児童が、身の回りの危険について考える場面で、イラストを提示した。本イラストは、図工専科教員と協力し、教室や廊下等における児童の様子等について、本学級の実態に合わせて3枚（教室、廊下、階段）作成した。

学校生活の中で、実際に経験したことのある場面の絵を提示することで、児童が、自分たちの問題であることを意識できるようにした。



提示したイラスト

(2) ペアでの活動の導入

二人一組で、1枚のイラストを見て、危険なところを話し合わせる。話合いを通して、自分では気付かなかった新たな危険にも目を向けることができる。また、自分たちが話合っていないイラストについて、学級全体の話合いで友達の考えを聞くことで、場所は違っても、危険な行動や守るべききまりはほぼ同じであることに気付くことができると考えた。

6 本時の展開

(1) ねらい

教室や廊下で過ごすときにどのような危険があるのかを予測し、危険に遭わないためのきまりや約束を考えることができる。 【I-2-②】

(2) 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）
導入	<p>○教師の提示する言葉について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうかはあるきます。 ・きょうしつでは、おいかけっこをしません。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ先生はこんなことを言うのだろう。 ・危険だからだと思う。 ・でも、どんな危険があるのかな。 	<p>◎担任が、ふだん児童に繰り返しかける言葉を提示する。この言葉にはどのような意味があるのかを考えさせることで、危険な場面が身近に多くあることに気付くようにする。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どんなきけんがあるか、かんがえよう。</p> </div> <p>○階段の様子イラストを見て、どんな危険があるか、全員で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達を押している子がいるよ。 →ぶつかりそうで危険 ・帽子を振り回している子がいるよ。 →他の人に当たりそうで危険 <p>○教室又はトイレ前廊下のイラストを見て、どんな危険があるか、二人一組で考える。</p> <p><教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・追いかけてっこをしている子がいるよ。 →本を運ぶ子にぶつかりそうで危険 ・机に荷物がいっぱいかかっているよ。 →足にひっかかって、転びそうで危険 <p><トイレ前廊下></p> <ul style="list-style-type: none"> ・走りこんでくる子がいるよ。 →給食当番にぶつかりそうで危険 ・サンダルや上履きがばらばらだよ。 →つまずいて、転びそうで危険 <p>○それぞれの絵について、危険だと思った箇所及び理由を発表する。</p>	<p>◎実物投影機で、イラストをモニターに映し出し、まずは全員で話し合うことを通して、考え方や話し合い方を押さえる。</p> <p>◎危険な行動をしている人、危険な場所について発言させ、赤色で囲む。また、危険と考えた理由も併せて板書する。</p> <p>◎イラストは、二人組に、教室、トイレ前廊下のどれか1枚を渡す。</p> <p>◎学級全員で、階段のイラストを使って学習したことを踏まえて取り組むよう助言する。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストを見て、危険な行動をしている人、危険な場所を探し、赤鉛筆で囲む。 ・なぜ危険なのか、理由を書き込む。 </div> <p>◎危険な行動だけでなく、場の状況にも目を向けられるよう声かけをする。</p> <p>◎児童の気付いた危険について、行動（黄緑）と環境（青）に分けて、板書する。</p>
まとめ	<p>○学習を振り返って、これからどんなことに気を付けて生活するかを考え、ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走ると危険だから、歩けばいいんだね。 ・物が散らばっていると危険だから、きれいにしよう。 	<p>◎場面は違って起こりうる危険や気を付けることは同じであることを伝える。</p> <p>■教室や廊下、階段で、これから自分が気を付けることについて考え、ワークシートに記述している。（ワークシート）</p>

(3) 評価

教室や廊下で起こりうる危険に気づき、それを防ぐための行動の仕方やきまりについて理解することができたか。